



校長室より

南高安中学校長 中村 和志

きらめく青葉に初夏の訪れを感じる季節となりました。ゴールデンウィークが終わり、学校生活に再びリズムが戻ってきました。休み明けの体調管理が難しい時期ではありましたが、生徒たちは引き締まった表情で授業に臨み、放課後は部活動に汗を流すなど、充実した学校生活を送っています。主体的に学ぼうとする一人ひとりの姿勢が大変嬉しく、また誇らしく思っています。

今月は1学期の折り返しの時期です。落ち着いて学習や部活動に打ち込める絶好の機会であると同時に、これまでの成果と課題が見えてくる時期でもあります。

生徒の皆さんへ、校長先生からエールを送ります。「**継続は力なり**」です。言葉通り、日々の授業を大切に、コツコツと努力を続けることが一番の近道です。もし壁にぶつかったり、悩んだりした時は、一人で抱え込まずにいつでも相談してください。皆さんが一步一步、自分のペースで前進していけるよう、先生たちは全力で応援しています。

保護者のみなさま、いつも温かいご支援をありがとうございます。子どもたちが梅雨の時期を吹き飛ばすほどのエネルギーを持って成長できるよう、教職員一同、全力で指導にあたってまいります。これからも、生徒一人ひとりが大切にされ、成長できる学校づくりに努めてまいります。引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

避難訓練を実施しました

5月29日（金）の第3校時、今年度第1回の避難訓練を実施しました。今回は地震を想定し、避難経路の確認と、安全かつ迅速な行動を身に付けることを目的として行いました。

訓練開始の放送が入ると、生徒たちは真剣な表情で机の下に身を隠し、その後の指示に従って速やかにグラウンドへと避難を始めました。「お・は・し・も（おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない）」の約束を守り、私語をすることなく非常にスムーズに行動できていたのが印象的です。全体の避難完了にかかった時間も例年通り短く素晴らしいものでした。

訓練の終わりのあいさつで、私は生徒たちに一つの問いかけをしました。「もし、授業中ではなく、誰も大人がいない放課後や登下校中に大きな災害が起きたら、どう行動しますか？」災害は、いつ、どこ



で私たちが襲うか分かりません。学校にいるときであれば、先生たちの指示に従って行動することができます。しかし、中学生の時期は、行動範囲が広がり、一人で行動する時間も増える時期です。だからこそ、これからの防災に必要なのは「指示を待つこと」ではなく、「自分の頭で考え、判断し、行動する力」です。

さらに、中学生という年代は、災害時には単に「守られる側」ではなく、地域や家族を「支える側（共助の担い手）」になることも期待されています。今回の訓練が、そうした自立と貢献への意識を高めるきっかけになってほしいと願っています。

災害はいつ、どこで起こるか分かりません。ご家庭でもぜひ、この機会に避難場所や緊急時の連絡方法について話し合ってみてください。

子ども見守り活動、あいさつ運動

南高安中学校区では、地域の方と保護者の方が共通の活動として、毎月第1・第3火曜日の朝（7:20頃～8:20頃）にあいさつ運動を実施していただいています。

この活動に合わせて、私も自転車で校区を回らせていただいているのですが、行く先々で朝から気持ちの良い、元気なあいさつが聞こえてきます。

交差点などで子どもたちを優しく出迎えてくださる地域の方や保護者の方の姿を拝見するたび、この南高安は、地域全体で子どもたちを大切に育てていく温かい気持ちに溢れた素晴らしい地域だと、改めて強く実感させられます。

早朝の大変な時間帯から、地域の子どものための安心安全のために動いてくださるその優しい取り組みに触れ、私もいつもたくさんの元気をいただき、心が温かくなっています。

学校としても、こうした地域や保護者のみなさまの支えを大変心強く思っております。生徒たちがこれからも安全に、安心して学校生活を送れるよう、今後とも変わらぬ見守りとあいさつ運動へのご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

1 年宿泊学習

5月17日（日）・18日（月）の2日間、1年生が奈良県の国立曽爾青少年自然の家へ宿泊学習に行ってきました。

曽爾高原は、雄大な山々に囲まれた自然豊かな場所で、広々とした高原の風景の中で、仲間とともに過ごすには大変すばらしい環境です。今回の宿泊学習では、自然の中での体験活動や集団生活を通して、協力する力、自分の役割に責任をもつ力、仲間とともに行動する力を育てることを大切にしながら、2日間の活動に取り組みました。



1日目は、学校で出発式を行った後、バスで曽爾高原へ向かいました。自然の家に到着後は、入所式を行い、昼食をとった後、班ごとにフォトテーリングに取り組みました。写真を手がかりに、班の仲間と相談しながら進む活動では、地図や周囲の様子

を確認し、声を掛け合いながら協力して行動する姿が見られました。

夜にはキャンドルファイヤーとレクリエーションを行いました。レクリエーションでは、学級代表の生徒が司会進行を務め、学年全体で大いに盛り上がりました。また、学年主任の中島先生が「キャンドル様」に扮して登場すると、生徒たちは大爆笑。会場全体が笑顔に包まれ、学年の仲間との距離がぐっと縮まる、とても楽しい時間となりました。

2日目は、朝のつどいから一日が始まりました。部屋の片付けや館内清掃では、自分たちが使った場所を最後まで責任をもって整える姿が見られました。その後の野外炊飯では、かまど係、調理係、配膳係など、それぞれが役割を果たしながら、班で協力してカレーづくりに取り組みました。火起こしや調理、片付けなど、思い通りにいかない場面もありましたが、仲間と相談し、助け合いながら活動を進めることができました。

この2日間を通して、1年生は「時間を守ること」「仲間と協力すること」「自分の役割に責任をもつこと」の大切さを、体験を通して学ぶことができました。普段の学校生活とは違う環境の中で、一人ひとりが自分にできることを考え、班や学年の一員として行動しようとする姿に、入学から約1か月半での成長を感じました。

今回の宿泊学習で得た経験を、これからの学校生活にもつなげ、1年生全体がさらにまとまりのある学年へと成長してくれることを期待しています。



2年球技大会

5月19日の5・6限、中学2年生の球技大会が元気いっぱいに行われました。学年生徒会が中心となった立派な選手宣誓で幕を開け、男子のサッカー、女子のバレーボールともに、白熱した好ゲームが繰り広げられました。全力でボールを追いかける姿はもちろん、仲間と声を掛け合い、自ら大会を運営していく姿に、最高学年へと向かう2年生の頼もしい成長を感じました。今回の大会で深まったクラスの絆を大切に、これからも互いを高め合える学年であってください。



通級指導教室の紹介

本校では、通級指導教室を開設しています。内容をお知らせいたします。

本校には、学びの場として、①通常の学級・②特別支援学級・③通級指導教室の3つがあります。

問い合わせは、教頭まで、お願いします。

設置内容	①通常の学級	②特別支援学級	③通級指導教室
学習内容	カリキュラムに合わせた授業	個別支援計画に基づき授業を行います。	個別の支援計画に沿って支援します。
授業形態	すべての授業を通常の学級で学ぶ	授業時数の半分以上は特別支援学級で学びます。国数英理社の5教科ないしは、4教科を特別支援学級で学んでいます	通級による指導で抜ける時間帯以外は通常の学級で学びます。
備考	教科指導者による5段階絶対評価 クラス全体での学習になります。	個人の特性に合わせた指導が受けられます。特別支援学級で学んだ教科は文章による評価になります。	個別の心のケアやソーシャルスキルトレーニングを中心に支援します。 評価は、通常の学級の教科指導者が行い、5段階絶対評価となります。

通級指導教室とは

通常の学級に在籍している状態で、週に数時間、通級に通って、個別で支援を受ける学級のことをいいます。お子さん自身が、自分の特性の理解や活かし方、苦手なことへの対処法を学ぶことで、授業や生活上の困り感を減らしていくことが目的になります。(勉強の補習では、ありません。)

今後の学校の予定(案)

案ですので最新なものでご確認ください。

生徒指導や学年等からの通信でお知らせしているものも参考にしてください。

6月 1日(月)・・・【45分校時】

6月 2日(火)・・・校内研究授業(2年・道徳)【1.3年生は給食後下校】【45分校時】

6月 3日(水)・・・タカ・タイム 小中交流1年生 【45分校時】

6月 4日(木)・・・1.3年耳鼻科検診 13:30～尿検査もれ日

6月 8日(月)・・・3年生実力テスト

6月 9日(火)・・・5限授業

6月10日(水)・・・タカ・タイム・結核検診 10:30～11:40・全校集会

6月11日(木)・・・歯科検診(1年1.2組・2年)

6月12日(金)・・・3年修学旅行前日注意

6月15日(月)～17日(水)・3年修学旅行

6月18日(木)・・・3年 12:30登校

6月22日(月)・・・歯科検診(1年3.4組・3年)

6月24日(水)～26日(金)・1学期期末テスト

6月29日(月)・・・【45分校時】

6月30日(火)・・・脱いじめ傍観者教育(1年)【45分校時】

7月 1日(水)・・・タカ・タイム 【45分校時】

【中学校給食のない日】

全学年【1学期期末テストのため】

6月24日(水)・25日(木)・26日(金)